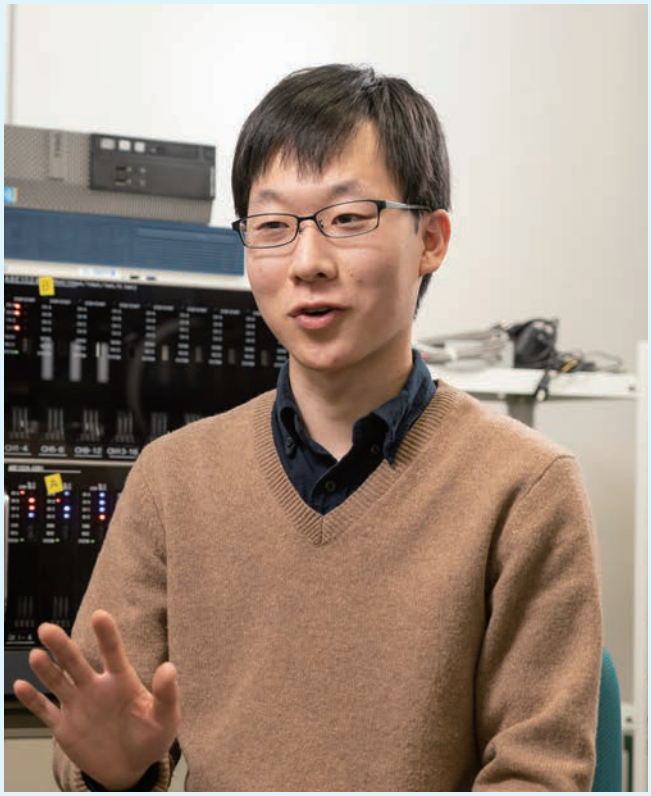
Interview

先輩インタビュー



Interview

博士後期課程　松見研究室　高森　紀行 さん

学んだことを活かして一生，研究者。世界と闘うために。

大学から環境を一変し，様々な人，様々な価値観に出合えば自分の価値観が確立されるのではないか。そのためには〝ダイバーシティ〟であるJAISTが適しているのではないか。融合科学共同専攻の奨学金も魅力的。かくして，私は本学へ進学しました。

研究は大学時代からリチウム電池。現在は電極活物質，バインダー，電解質に関して新規物質を探索しています。また，本学は，この規模としては企業との共同研究が非常に多く，松見研究室でも材料評価などの共同研究が活発で，私たち学生は研究の自由を謳歌しています。

入学当時，私は「後期課程へ行くと言い出したら，是が非でも止めてほしい」と，家族に頼んだにもかかわらず，現在は後期課程に在籍。「一生，研究者でやっていく」と意を決したからです。電子機器や電気自動車など，急拡大するバッテリー市場で日本は韓国，中国，諸外国と競っています。そんな情勢の中で戦い抜くためには何が必要か。ならば，学んだことを活かし，その延長線上で生きていこう。やりたい研究を仕事にしよう。と，JAISTが私をその気にさせました。

日本で博士課程の学生が激減している原因の一つは，経済的な不安定です。文科省は2021年，フェローシップの枠を増員しました。私は研究員に採用され，経済的問題は回避できました。「研究者」を志す学生が増えることは，未来の日本を創ることだと私は思います。